

レジメン名：CapeOX 療法

【適応癌腫】 大腸癌

【1 コースの期間】 21 日 【最大コース数】 8 コース(術後のみ)

【催吐性リスク】 中度

RpNo	薬剤名/手技/コメント	1回投与量 (補正単位)	速度指示	day (1)	day (2)	day (3)	day (4)	day (5)	day (6)	day (7)
Rp 01	点滴注射 30分かけて グラニセトロン静注液シリンジ 3mg 「ナリ」 デカドロン注射液 3.3mg/1mL 生理食塩液 100mL	点滴静注 (速度入力なし) 3 mg 9.9 mg 100 mL		+00:00						
Rp 02	※化学療法 (薬剤部ミキシング) 120分かけて オキサリプラチン点静注 ブドウ糖注射液 5%250mL	点滴[化療] 130 mg/m ² 250 mL		+00:30						
注射										
Rp 03	※化学療法 (薬剤部ミキシング) 朝・夕食後 (分2) 1-4日分 カベシタビン(ゼローダ)錠 300 体表面積により用量調節必要	※化学療法内服 2000 mg/m ²		+00:00 +12:00	→					14日まで

【備考】

オキサリプラチンの累積投与量が 800~900mg/m² で末梢神経障害の出現率が増加。

減量は基準 L-OHP : 130mg/m²→100mg/m²→85mg/m²、cape : 2000mg/m²→1500mg/m²→1000mg/m²

血液毒性 (好中球減少 grade3 以上、血小板減少 grade3 以上) 非血液毒性 (grade2 以上)、→ 1 段階減量

カベシタビン投与量 (C 法) 体表面積 < 1.36m² : 2400mg/day、1.36~1.66m² : 3000mg/day、1.66~1.96m² : 3600mg/day

> 1.96m² : 4200mg/day